

1 計画の基本的事項

(1) 計画策定の背景と基本的な考え方

【平成初期】昭和時代の公害行政から
「環境行政」への転換

平成5(1993)エコポリス板橋環境都市宣言
平成7(1995)エコポリスセンター開設

【平成10年代～】区民・事業者・区の
協働による幅広い取組の展開

平成11(1999)「板橋区環境基本計画」策定
平成21(2009)「板橋区環境基本計画(第二次)」策定
平成28(2016)「板橋区環境基本計画2025」策定

【令和】未来志向の持続可能なまちづくりへ

令和4(2022)「ゼロカーボンいたばし2050」表明
〃 SDGs未来都市に選定
令和6(2024) プラスチック資源回収開始

＜策定の基本的な考え方＞

- ・ 次期基本計画との整合を図り策定
- ・ SDGs未来都市の実現
- ・ 中長期的な施策＋短期のアクションプランを備えた総合的な計画

(2) 計画の位置づけ

「板橋区基本構想」、「板橋区基本計画」で示された施策を
環境面から具体化する計画

(3) 計画期間

令和8(2026)年度から令和17(2035)年度まで(概ね10年間)

2 区の環境を取り巻く現状

(1) 国内外の動向

① 持続可能な開発目標(SDGs)

経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた
社会を目指す取組の広がり



② 第六次環境基本計画

- 将来にわたって「ウェルビーイング／高い生活の質」
をもたらす「新たな成長」の実現
- 環境収容力を守り環境の質を上げることによって、
経済社会が成長・発展できる「循環共生型社会」の
実現

③ 脱炭素・気候変動対策

2050年までのカーボンニュートラルの実現

④ 循環型社会

循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行

⑤ 生物多様性

- 2050年ビジョン「自然と共生する社会」
- 2030年 ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現

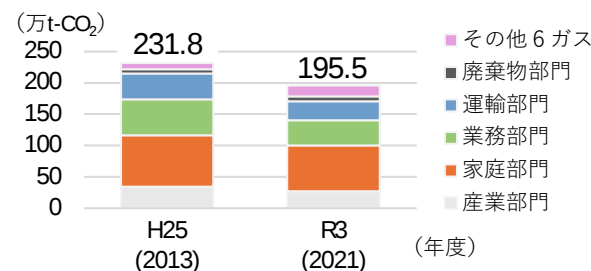
(2) 区の現状と特性

～ 各分野の現状と特性 ～

脱炭素

温室効果ガス排出量(2021)15.7% 減少
[2013年度比]

＜区内温室効果ガス排出量＞



気候変動適応

- 年平均気温が上昇傾向
- 今後、気温は現在よりも上昇、真夏日・猛暑日
熱帯夜、短時間強雨が増加予測

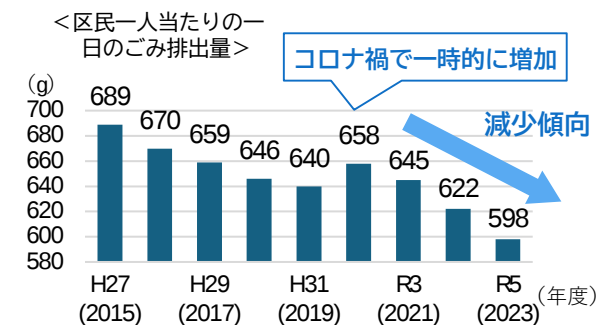
＜21世紀末の猛暑日や熱帯夜などの変化＞

	2℃上昇シナリオ	4℃上昇シナリオ
猛暑日	6 日程度増加 ↑	31 日程度増加 ↑
真夏日	18 日程度増加 ↑	60 日程度増加 ↑
熱帯夜	14 日程度増加 ↑	58 日程度増加 ↑
冬 日	16 日程度減少 ↓	37 日程度減少 ↓

(東京管区气象台「東京都の気候変化」より)

資源循環

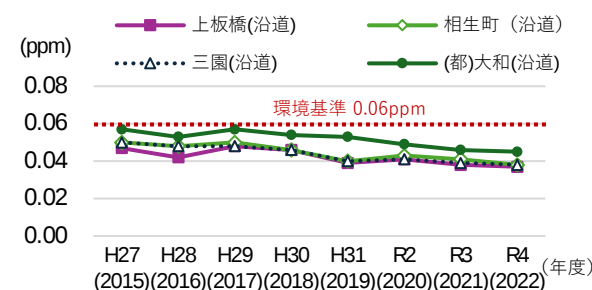
区民一人あたりの一日のごみ排出量は減少
傾向



生活環境

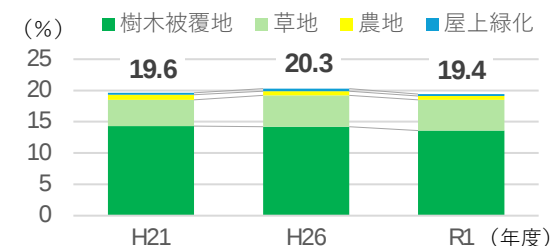
大気環境、河川の水質とも概ね良好な状態

＜【大気】二酸化窒素濃度(98%値)＞



自然環境

緑被率※は、徐々に減少しているものの、多様な
みどりの環境が存在

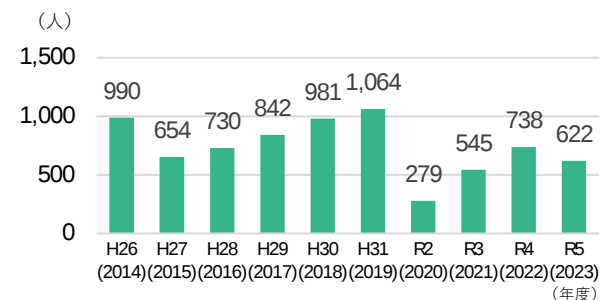


※緑被率:緑被地面積(樹木被覆地、草地、農地、屋上緑化)の
区面積に占める割合

学びと協創

エコポリスセンター事業を中心に多層的に環境
教育、人材育成、連携・協働を展開

＜エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数＞



【参考】区民・事業者の意識

(1) 区民・事業者・児童生徒アンケートの意識

① 区民 (対象:2,000人 回答数:504人 回答率:25.2%)

Q: 環境問題への関心
A: **地球温暖化・気候変動に最も高い関心(82.9%)**

Q: 区が今後重点的に取り組むべきこと
A: **気候変動対策(緩和・適応)**を重視
・豪雨の頻発等に対応した水害対策[53.2%]
・気候変動に対応した熱中症対策[44.0%]

Q: 区民が今後重点的に取り組むべきこと
A: **ごみの削減と資源の有効利用**を重視
・ごみの削減 [67.7%]
・資源の有効利用 [61.1%]

② 事業者 (対象:500社 回答数:127社 回答率:25.4%)

Q: 重要視している環境課題
A: **省エネルギーを最重要視(56.7%)**

Q: 区が今後重点的に取り組むべきこと
A: **気候変動対策(緩和・適応)**を重視
・豪雨の頻発等に対応した水害対策[53.5%]
・気候変動に対応した熱中症対策[40.9%]

Q: 事業者が今後重点的に取り組むべきこと
A: **ごみの削減と資源の有効利用**を重視
・ごみの削減 [55.9%]
・資源の有効利用 [46.5%]

③ 児童・生徒 回答数:区立小学校5年生 2,332人 回答率:58.8%
区立中学校8年生 1,806人 58.8%

Q: 環境問題への関心
A: 小学生、中学生とも**次の関心が特に高い「自然や生きものの保全」「地球温暖化」**
⇒ 小学生78.1%、中学生69.7%
⇒ 小学生75.1%、中学生72.0%

Q: 学びたい環境問題
A: 学びたい環境問題は、小学生、中学生とも、**「地球温暖化」**が突出
⇒ 小学生62.5%、中学生56.6%

(2) ワークショップ

① 区民ワークショップ

開催日:9月14日(土)・28日(土)・10月5日(土)
場所:区役所大会議室 参加者数:延べ45名

- テーマ1: 板橋の環境の変化
・緑、自然が減っている
・環境への関心、意識は高まっている
- テーマ2: 板橋の環境の未来
・災害に強く、安全・安心なまち
・多様な人々、自然との共生の暮らし
- テーマ3: 未来を実現するために「できること」
・環境を守る・つくる+育てる
・様々な主体をつなぐ
・子どもたちの体験を広げる

② 子どもワークショップ

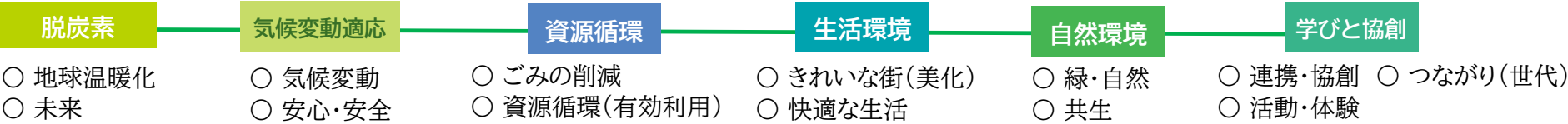
開催日:8月4日(日)・6日(火)・22日(木)
場 所:板橋区立エコポリスセンター 参加者数:延べ68名

- Q: 今の板橋区の環境
A: いいところ 自然や公園があるところ
よくないところ ポイ捨てが多い
- Q: こうなったらいいと思う板橋区の未来の環境
- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 地球温暖化がない | ポイ捨てがなくきれい | 自然がいっぱい |
| 日陰があって涼しい | みんなが過ごしやすい | たくさんの生きものがいる |
| | 月や星が見える | |

(3) 関係団体ヒアリング

- <区民への発信>
・区役所のリーダーシップの発揮が必要
・活動主体が能動的に動く働きかけが必要
- <環境学習・環境教育>
・体験・探究につながる学習機会が必要
・学校と環境セクションの連携、大学による支援
・地域活動の拠点(地域センターなど)の積極的な活用
- <協創・推進体制>
・区役所内部の横連携の強化
・様々な主体が集まり、問題意識の共有、意見交換ができる、**ゆるやかな関係構築の場づくり**(環境カフェ等)
・事業者、研究機関等への実証フィールドの提供
→協働、実践の促進

各調査結果から
集約したキーワード



3 課題

計画全体に関わる課題

- ビジョンの明確化
～国の第六次環境基本計画(ウェルビーイング)との整合性～

- 分野の連携
～円滑な分野相互連携～

- KGI(重要目標達成指標)とKPI(重要業績評価指標)

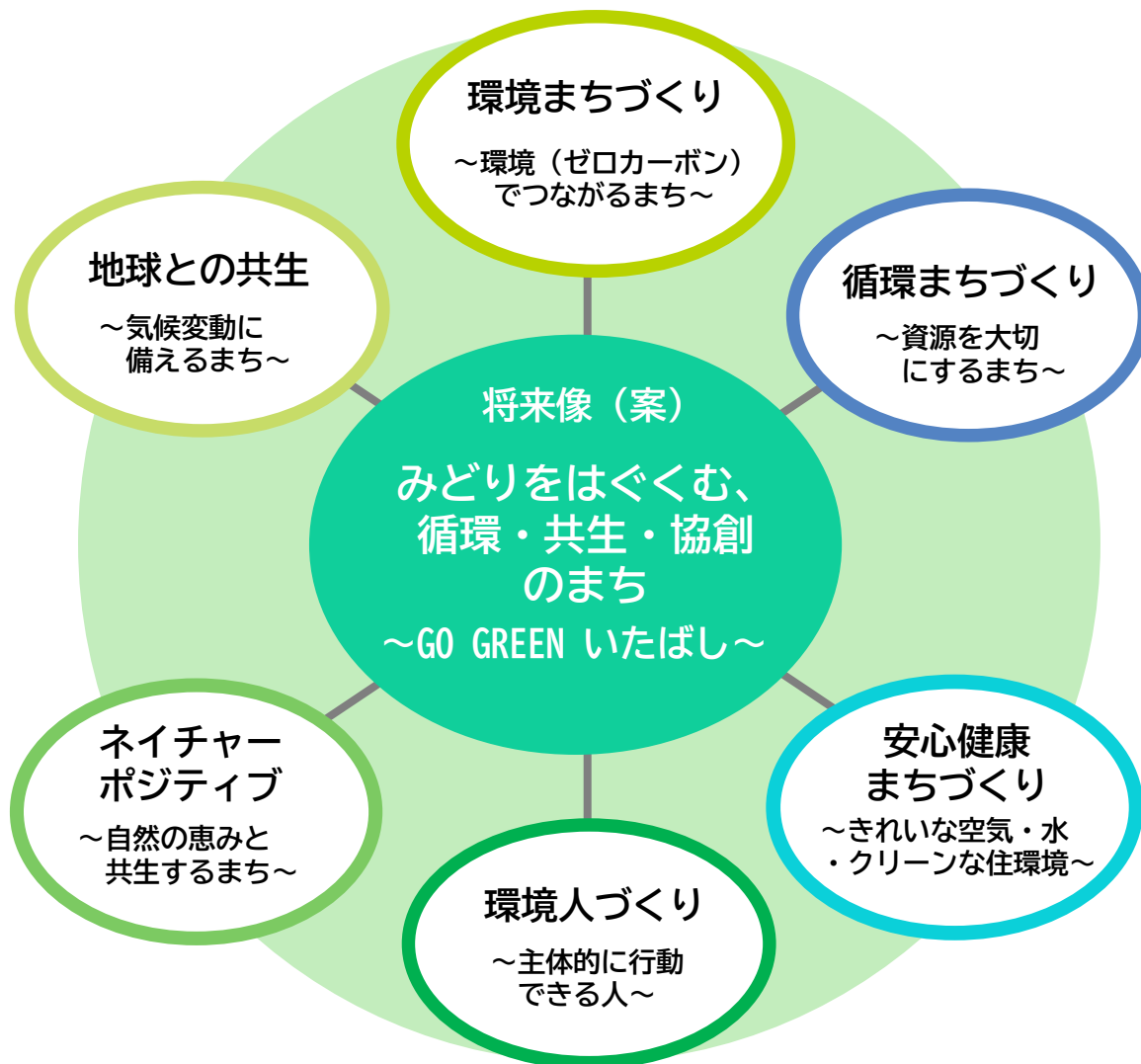
分野ごとの課題

- 脱炭素**
 - ・温室効果ガス排出抑制の取組推進
 - ・区民・事業者への支援の充実
- 気候変動適応**
 - ・環境部門と健康部門(熱中症対策)、防災部門(水害対策)の連携
 - ・区民、事業者への理解醸成

- 資源循環**
 - ・区民、事業者への継続的な周知
 - ・意識を高め、行動変容に繋げる啓発
- 生活環境**
 - ・事業者への公害関係法令の普及・啓発
 - ・区民へのわかりやすい情報提供

- 自然環境**
 - ・自然環境を保全していく風土醸成
 - ・「知る(学ぶ)・体験する・活動する」機会の提供
- 学びと協創**
 - ・環境教育・環境学習に触れる機会の拡充
 - ・DXの活用によるコンテンツの充実
 - ・関係主体間のネットワークの拡大

4 将来像と6つの基本目標



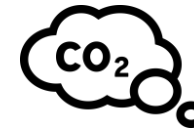
区民・事業者・区等が一体となった計画の推進

(1) 環境まちづくり ～環境(ゼロカーボン)でつながるまち～

脱炭素

脱炭素や気候変動、資源循環、自然環境、生活環境、環境教育などすべての分野の環境に配慮した取組をトータルに実践する環境まちづくり(幸せを実感できるまちづくり)をめざします。

ゼロカーボンの実現に向けては、エネルギーの効率的利用や再生可能エネルギーの利用など、着実に温室効果ガス減少に取り組んでいきます。



(2) 地球との共生

気候変動適応

～気候変動に備えるまち～

平均気温の上昇や真夏日・猛暑日の増加、集中豪雨など、地球の気象変化が激しくなっている中で、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出を抑制するとともに、気候変動に対応していくため、熱中症対策・水害対策に取り組み、安心して暮らせるまちづくりをめざします。



(3) 循環まちづくり ～資源を大切に作るまち～

資源循環

ごみとなるものをできる限り減らし、再生利用しやすい製品を選ぶとともに、再資源化可能なものや、リユースできるものは資源として循環させる暮らし、事業活動を促進し、環境と経済のバランスに配慮した循環型都市をめざします。



(4) 安心健康まちづくり

生活環境

～きれいな空気・水・クリーンな住環境～

大気環境や水環境等に関する基準の遵守や清掃活動等によるまちの美化等の取組を促進し、きれいな空気、清らかな水、きれいな街(美化)を感じられる安心で健康な生活環境をめざします。



(5) ネイチャーポジティブ ～自然の恵みと共生するまち～

自然環境

動植物等の生物と、それを支えるみどり(崖線のみどりや自然とふれあえる公園や農地、河川、湧水など)が調和する生物多様性を、発信や区民による体験を通して保全・活性化し、自然の恵みと共生するまちづくりをめざします。



(6) 環境人づくり ～主体的に行動できる人～

学びと協創

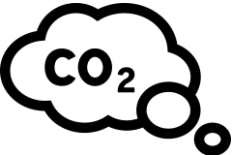
地球規模に及び将来の世代にわたる広がりをもつ環境問題について、充実したコンテンツをとおして情報を「伝え」、興味や関心をもって継続して「学び」、問題の本質や解決の方法について自ら考える能力を身につけ、主体的に取り組む人材を「育てる」人づくりをめざします。



5 施策の方向性

(1) 環境まちづくり

～環境（ゼロカーボン）でつながるまち～



環境(ゼロカーボン)のまちづくり

省エネ・再エネ利用
(区民生活・事業活動)

スマートシティ

包含する計画 地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) 同 (事務事業編)

(2) 地球との共生

～気候変動に備えるまち～



熱中症対策
(気候変動に対応したライフスタイル)

水害対策
(気候変動に対応したまちづくり)

包含する計画 地域気候変動適応計画

(3) 循環まちづくり

～資源を大切にするまち～



リデュース
リユース
リサイクル 3R

ごみの発生抑制
資源循環

(4) 安心健康まちづくり

～きれいな空気・水・クリーンな住環境～



良好な生活環境
(大気環境や水環境等)

まちの美化(環境美化)

(5) ネイチャーポジティブ

～自然の恵みと共生するまち～



みどりや水環境の保全・再生

生物多様性の理解とその恵みを受け続けることができるまち

包含する計画 生物多様性地域戦略

(6) 環境人づくり

～主体的に行動できる人～



機会づくり
(情報:コンテンツ・場)

協働の取組み

包含する計画 環境教育等行動計画

6 推進体制と 進行管理

推進体制

- 板橋区資源環境審議会、庁内組織（エコポリス板橋推進本部）を中心とした進行管理
- 環境教育推進協議会、エコポリス板橋環境行動会議と連携した計画の推進

進行管理

- PDCAサイクルによる進行管理の継続
 - ・ 指標を用いた中長期の成果の評価と、短期の活動状況の点検
 - ・ 「板橋区環境白書」による点検と、評価結果の公表

4